

1999年8月1日

京都マイコン研究会

(1)



第 145号

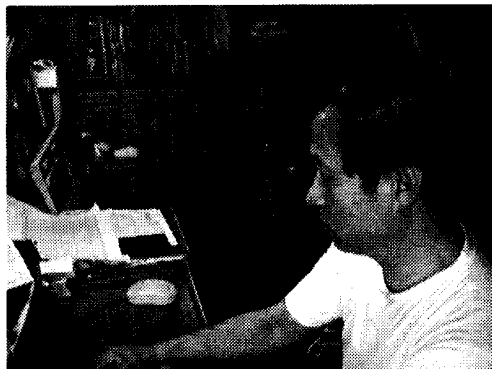
ネットワーク・コミュニケーションに関連する機器

事務局長 増田則雄

インターネット・LANばやりの中で一日の如く変化するハードの中で、実際に利用するにはどのような周辺機器類が良いのでしょうか。

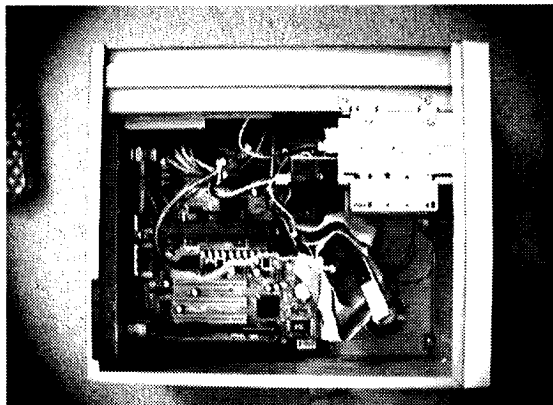
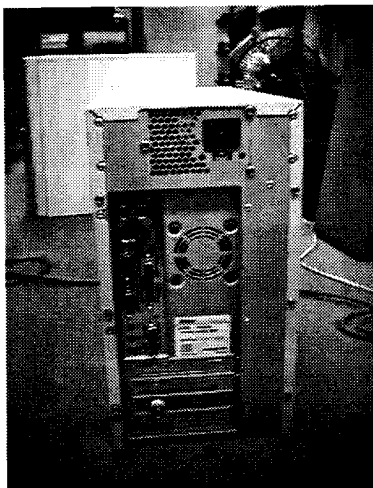
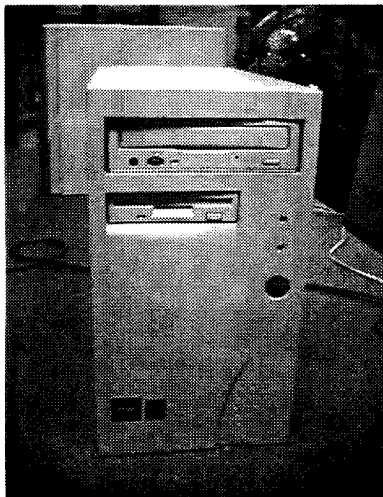
今回は、事務局に現在あるネットワークに関するハード類をご紹介致します。

最近、来たものが多く、まだ腰が落ち着いていませんが、製品についての写真と簡単な説明をさせていただきます。



●ハード1、飯山電気が低価格パソコンとして販売した製品。

セロン300MH/SDRAM32M/HDD3.2G/CD-ROM28倍速/VGR4M ON BORD/キャッシュ/モニターなし

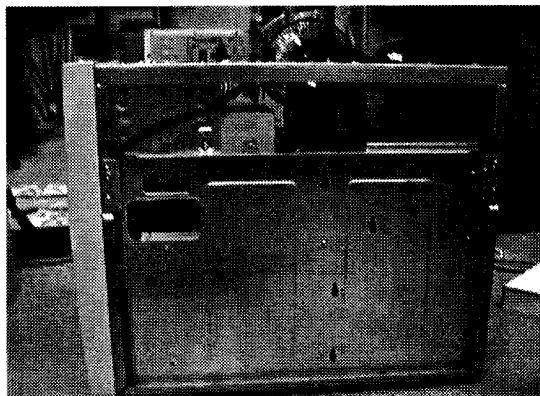
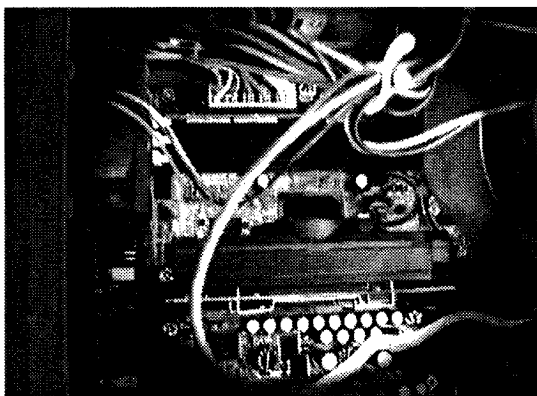
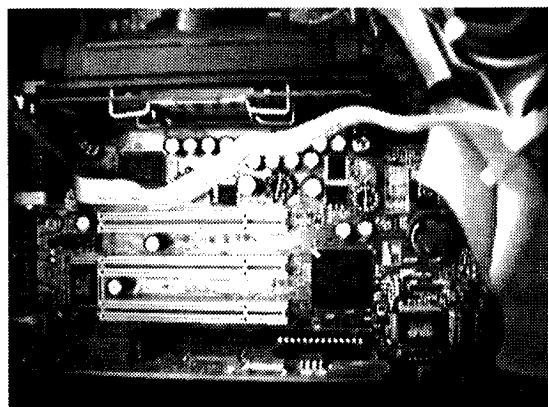


使用感：半年間利用してみて何のトラブルもなし。

他のハードに比べて安定した操作感が得られています。メモリを追加すればさらに良い。

ミニタワーのため拡張バスが少なくギリギリで苦しい。5インチスロットがもう一つはほしいところです。

モデムが付いてない。



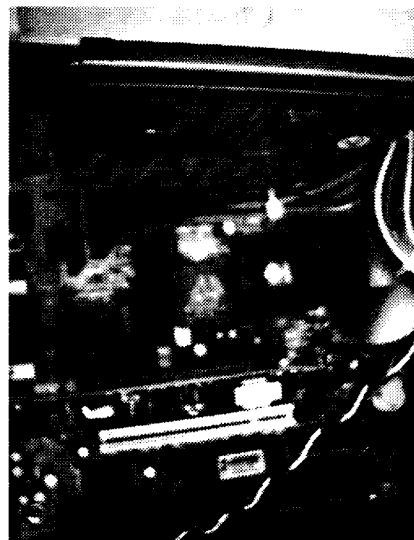
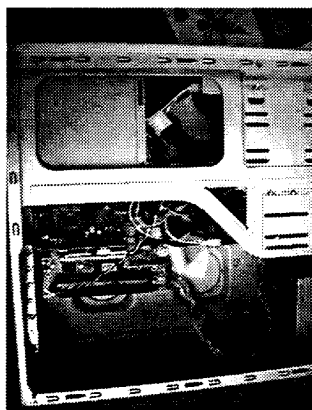
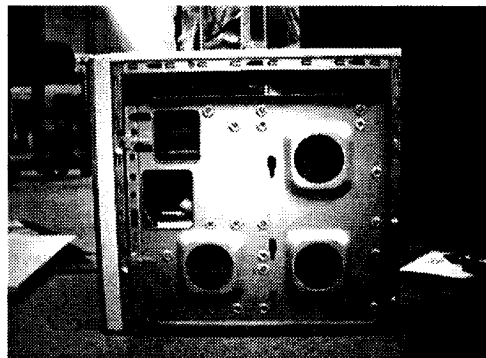
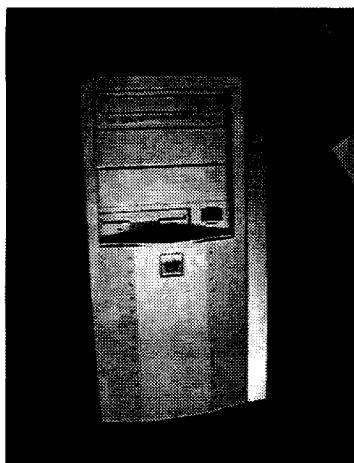
●ハード2、アメリカの輸入物で低価格1,000ドルパソコン。

セロン300MH/SDRAM32M/HDD3.2G/CD-ROM36倍速/VGR4M ON BORD/キャッシュ/モニター15インチ付き/スピーカ付き/モデム56K/インテリジェントマウス/英語101キーボード

このパソコンセットで飯山の価格です。ボード類やチップなど悪くないしっかりした物をセットしてあり安定性は良好です。

安い物に欲を言えば、後ろの外見から見たらバススロットがたくさんある様に見えるのですが実際は、PCIバスが2スロット現在モデムに1スロット使用されています。あとISAバスが2スロットの空きがある寂しい拡張ボード数です。

OSはインストール済みで英語版WINDOW98が導入済みです。WIN98英語版CD-ROM付属しています。購入後OSの入れ替え又は上書き、キーボードを日本語106キーボードに取り替えなければなりません。使い方次第では安くて良いものと言える製品です。



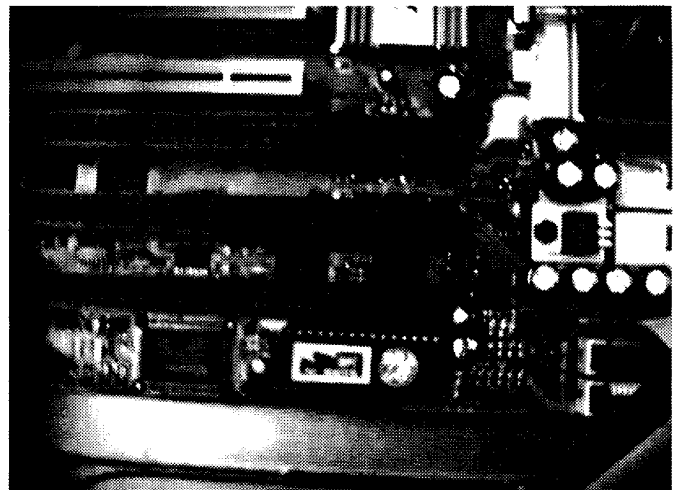
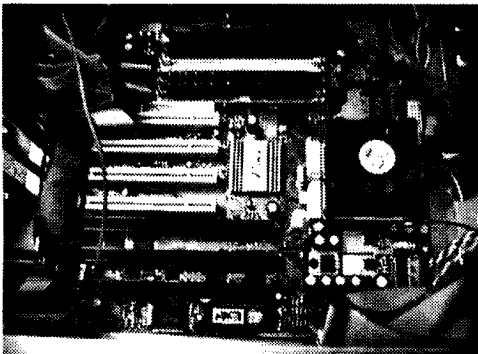
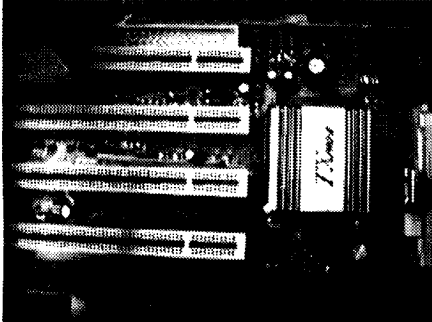
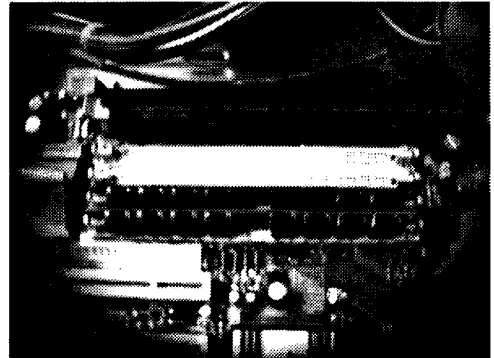
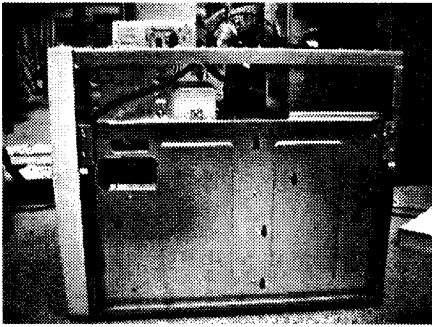
●ハード3、春に使い捨てるパソコンとして販売された製品。

セロン300MH/SDRAM32M/HDD4.2G/CD-ROM44倍速/VGR4M ON BORD/インテリジェントマウス/日本語106キーボード

価格帯としては1,000ドルパソコンと飯山の中間で、CPUにキャッシュメモリーが無い為色々なシーンでトラブル発生。

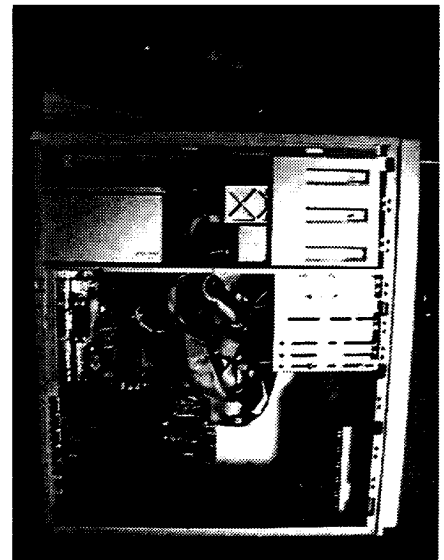
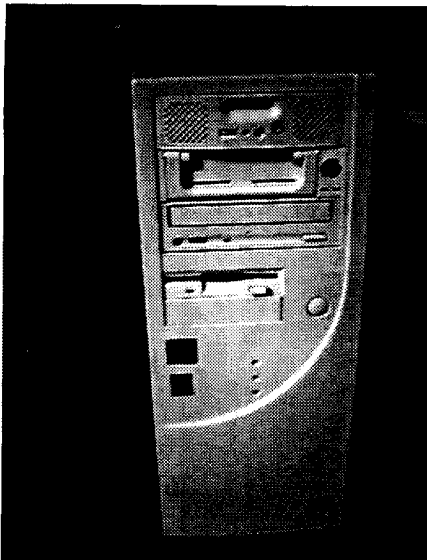
例を上げるとインターネット中に画像が正常に表示出来ない。フリーズすることがある。メモリー増設しても同じような事が起こる。

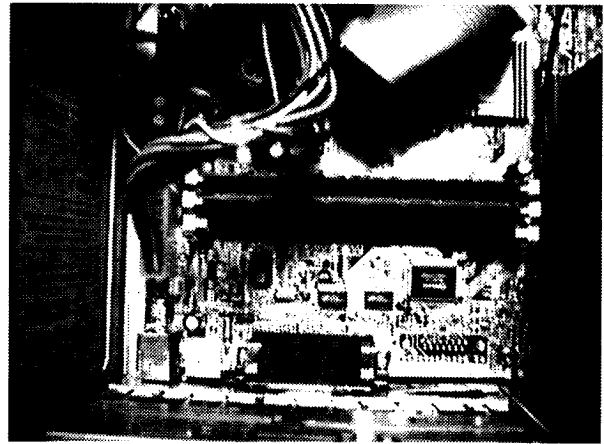
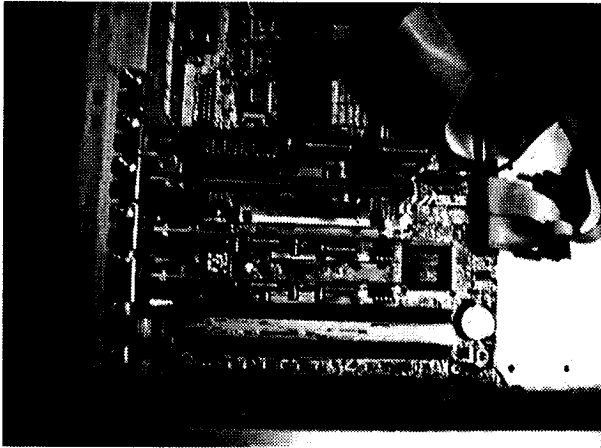
写真を見てもらえば解るように72ピン4枚と144ピン2枚のメモリスロットがあり、基本的にビデオメモリーをメインのメモリーから拝借して画像表示をしているわけで、操作途中で相互にメモリーを利用する個所があれば表示画面を正常に表示出来なくなり以後も画像に関しては同じ状態で回復は出来ない。



●ハード4、中古パソコンとして購入した製品。
 セレロン333MH/100MH SDRAM64M/HDD3.2G/CD-ROM40倍速/VGR4M /キャッシュ/

現在、事務局でメインに使用しているパソコンです。ミドルタワーで5インチベイが3個あり、現在はスピーカー、CD-ROM、リムーバルのHDDケースが挿入。
 バスは、ISAバスが3、PCIバスが5と拡張性に富んでいます。
 現在は、LANカード2枚がPCIバスを利用しています。

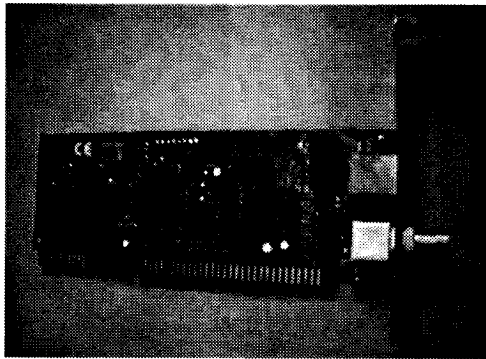




ネットワークやLANに関する機器

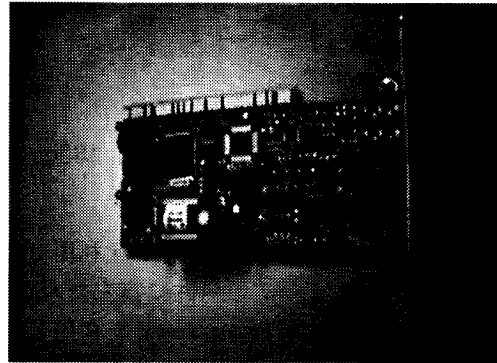
●LANボード (ISAバス用)

旧のバススロット用で10bas/P T用



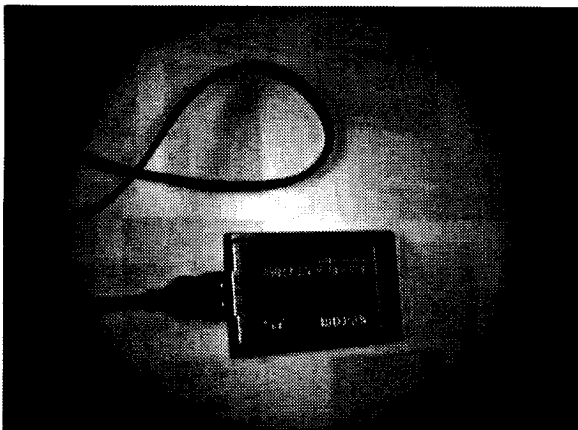
●LANボード (PCIバス用) 10bas/100bas T用

10bas/100bas T P&P対応PCIバスボードです。



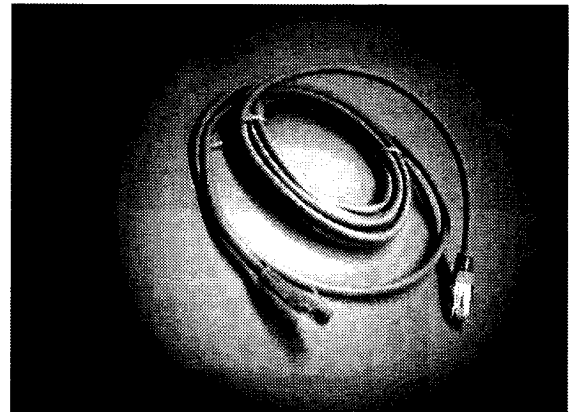
●LANカード (ノートパソコン用)

ノートパソコンでLANと接続するには必ず必要です。



●LANケーブル (ストレート・クロス)

TBasでLANをケーブルで接続する場合には必要な物で100メートルでも可能です。



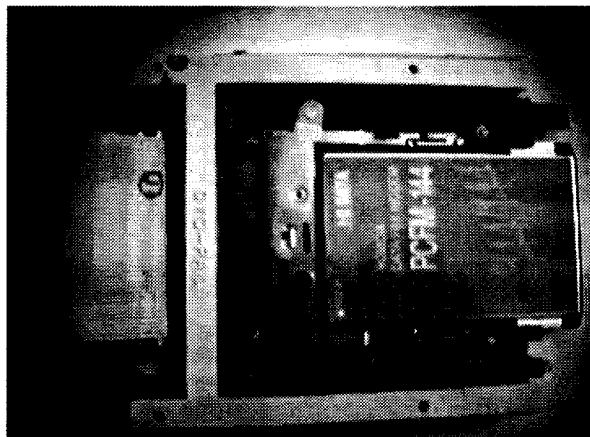
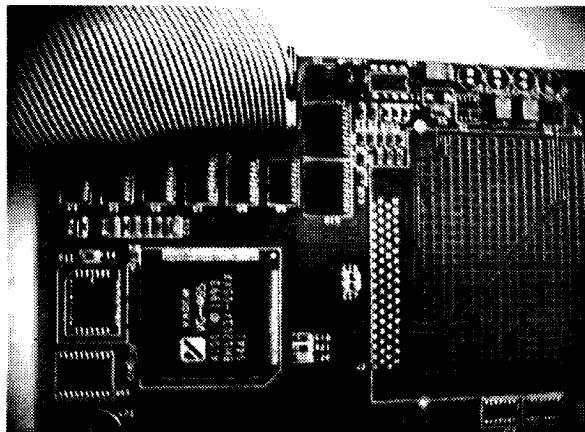
●PCMCIAカード拡張ボード用 (ISAバス用)

普通はノートで使うカードをデスクトップで利用する場合に装着します。

次ページのカード拡張スロットボードと一対で利用します。

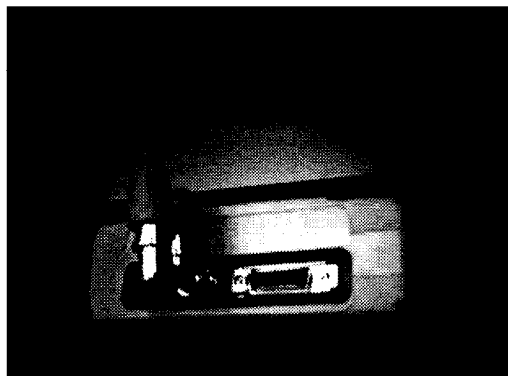
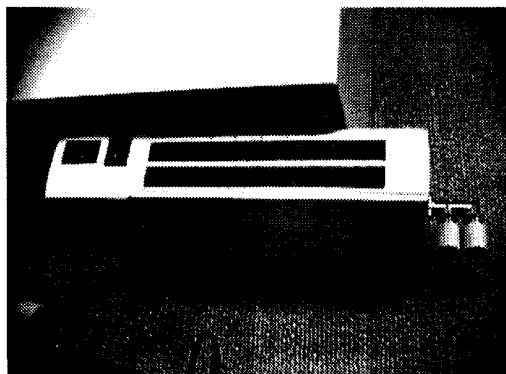
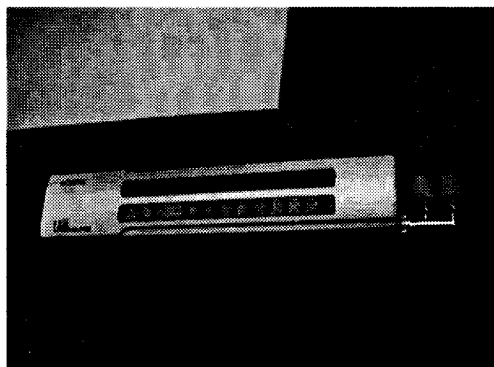
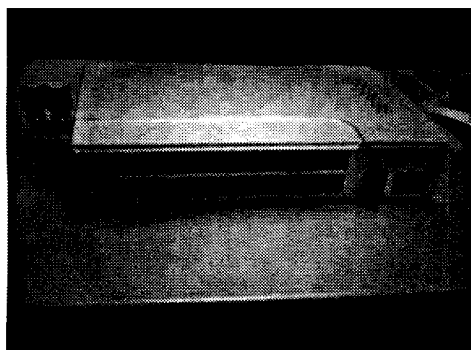
●ノート用カード拡張スロット (ノート用LANカード/モデムカード)

上記ASPI拡張ボードとの組み合わせで、ノート用拡張カードがデスクトップでも利用できるようになります。



●LANハブ (写真: 16スロット/10bas、100bas/T/P)

最近では100basの速度を利用できる物がほとんどになり、ケーブル接続可能数も多いほうが拡張性に富んだハブといえます。100bas利用と その場合、LANカードも100Basのカードを利用しなければいけないのはもちろんですが、10Basも利用できます。

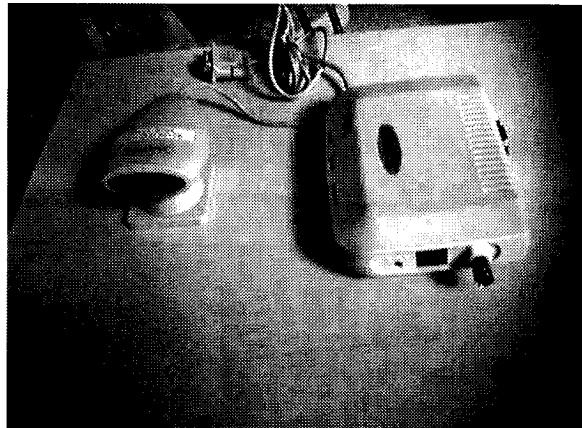
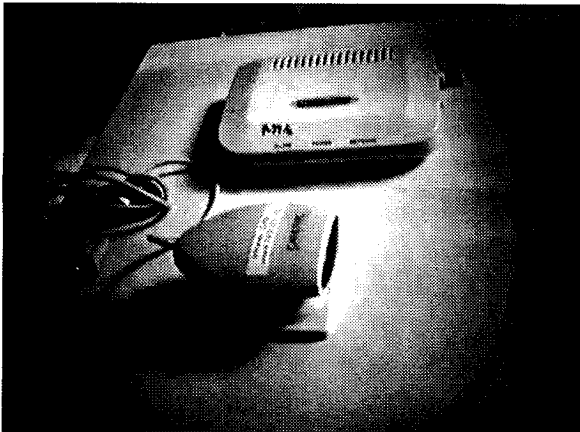


●赤外線LAN装置 (1センチ~40メートル)

RS232C赤外線ポートを利用してLAN接続を可能にしようという物です。

ノートパソコンであればほとんど赤外線ポートがありますがそれを利用してケーブルを引かずにLANが利用できます。

普通のLAN接続と違い、1対1の接続しか出来ず、赤外線放射角度もマルチではありません。

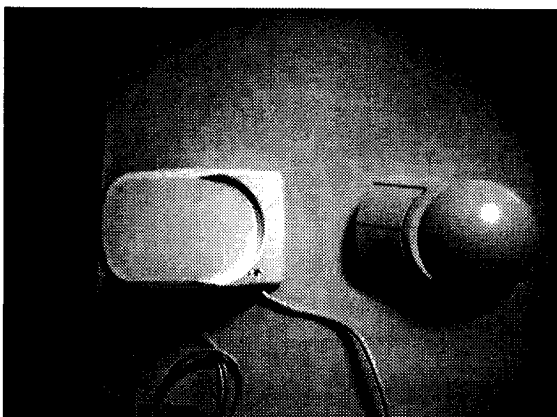


1対1で接続していて途中からの他との接続は出来ません。この接続状態から抜け出すには、どちらかのパソコンを終了するか、離れた場所に移動すれば他との交信が可能になります。なーんだ。ノートに付随している赤外線通信と同じと言われればそうかなとも思われるが、赤外線受信装置が付いただけでも言えるが、まだあまり良く利用してないので何とも言い難い。

●赤外線マウス

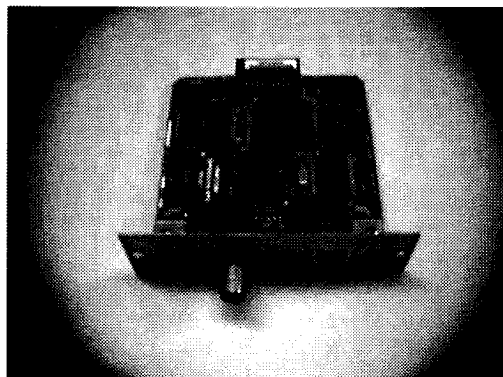
ご存知かと存じますが、ケーブルがなく(受信部にはパソコンとのケーブルはあります。)

受信部と操作部とに別れポインティングデバイスとしてのマウス部にはケーブルはなく赤外線を受信部に送信するというものです。マウス部には電池が装着され赤外線を発しているのです。



●レーザープリンタ用LANカード (TBas10用)

レーザープリンターを単独の周辺機器として、LANで繋がっているどのパソコンからでもプリントアウトができるようになる。LANでのプリンターの共有では、繋がっているパソコンが稼動していなければならないのですが、プリンターにLANボードを組み込めば、サーバーに繋がってなくても単独でプリントアウトができるという物です。

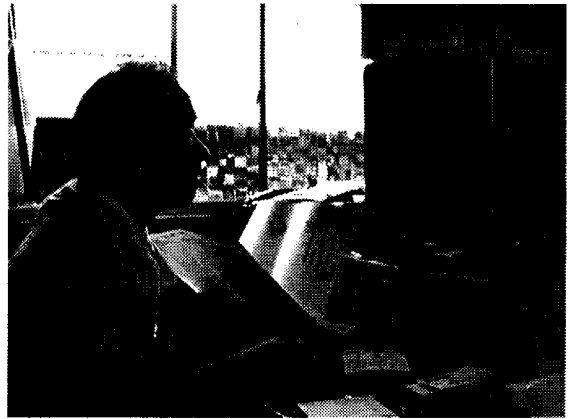


●無線LAN装置

ほしい物ですね。

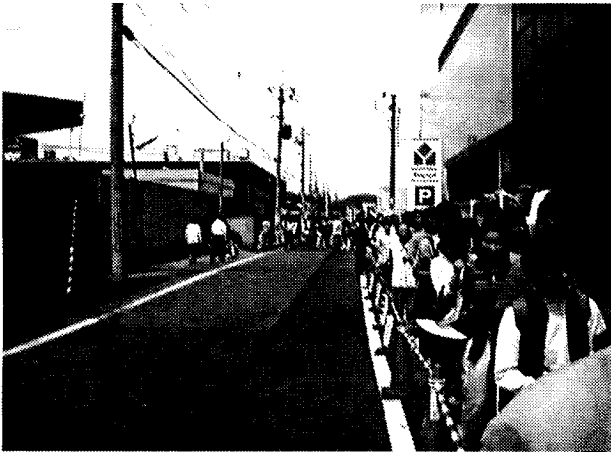
増田様

1日にお送りしましたメール、届きましたでしょうか。
 linuxに挑戦して、はや数ヵ月がたちますが、ようやくインターネットにつながりました。
 しかし、デジカメがつながるわけではなく、スキャナももちろん、だめです。
 turbo linux では、可能だった。フロッピーのフォーマットもまだ、できません。
 cdへのアクセスも今日やっとできました。
 こういったことが、簡単にできるようにならないと普及は無理です。
 以前のバージョンに比べて、進歩はしているのですが、もっともっと進歩しないとwinndowには、追い付けないでしょう。
 ともあれ、私のインターネット生活は、ほとんどlinux上でと言うことになりそうです。

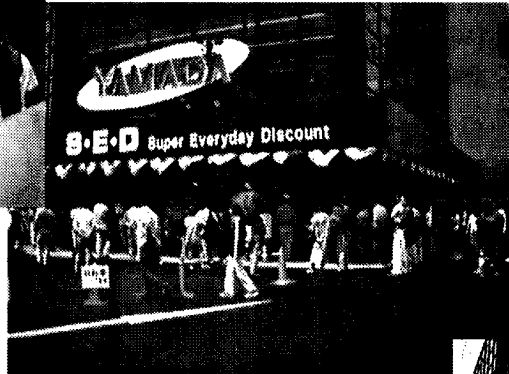


ところで、ftpは、linuxでは、どうなっているのでしょうか。
 まあ、ホームページのメンテナンスなど、しないのですから。
 かまいませんけど!
 暑い日が続きます。
 お体には、十分にお気をつけくださいませ。

左京区の渡辺
 京都大橋総合病院
 peh00467@mbox.kyoto-



ヤマダデンキ開店前日の行列の写真



開店後の風景。



パソコンをつんでロープ掛け終了のトラック上の風景



鈴鹿サーキット駐車場北端にある鈴鹿サーキットPCクリエイト入り口の写真。



入り口前での中村、増田写真。

